

# 災害発生！そのときあなたは…

特集…災害が起きたとき…備えは大丈夫ですか？

## 地震発生！

地震発生時には、家具の転倒や窓ガラスの飛散など、あらゆる事態から身を守らなければなりません。

いざというとき慌てないように、普段から行動手順をしっかりと確認しておきましょう。



●まず身を守ることが大切。頑丈なテーブルや机の下に身を隠すなどし、揺れがやむのを待つ



●火元を確認。特に台所に近づくときは、けがを防ぐためにスリッパなどを履く



●揺れでドアが開かなくなることがあるので、ドアを開ける



●声を掛け合い、家族の安全を確認する

ふうすいがい

## 風水害の恐れ！

風水害は、地震のような突発的な災害に比べ、テレビやラジオの天気予報などで詳しい情報を事前に入手できます。正確な情報を集めて、落ち着いて対応することが大切です。



●テレビやラジオなどで最新の気象情報を把握し、家屋周辺の状況に注意する



●避難に備え、非常持ち出し品を確認する



●浸水に備えて、貴重品や衣類を自宅の2階など高い場所へ移す



●家族が離れ離れのときは、お互いの所在やその後の行動について確認する



## 避難

- 市役所などから避難の呼び掛けがあったら、速やかに指示に従い避難する
- 近所の人たちと声を掛け合い、協力して避難する
- ブロック塀などの倒れそうな物や、垂れ下がった電線には近寄らない
- 落下物などに注意し、バッグなどで頭を守りながら安全な場所へ避難する

## 災害用伝言ダイヤル

### 171を知っていますか？

大規模な災害が発生したときに利用できる、被災住民の安否を伝える「声の伝言板」です。「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音や再生を行います。

毎月「1日」は、災害用伝言ダイヤルを体験できます。

※携帯電話番号や、「050」から始まる電話番号などは登録できません。

### 録音手順

171をダイヤル

1をダイヤル

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル\*

### 再生手順

171をダイヤル

2をダイヤル

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル\*

